



ハワイ便り

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・ハワイで過ごすアクティブライフ！

Hawaii Senior Life Enrichment Association(HISLEA)

発行：ハワイシニアライフ協会

info@hawaiiisenorlife.org Tel: (808) 428-5808 Fax: (808) 396-1140 P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

2009年5月号 (Vol.19)

当協会の趣旨に賛同いただき、ご支援いただいています法人会員様の紹介ページがウェブサイトに掲載されています。会員お得情報もありますので、ぜひご覧ください。現在、掲載されています法人会員様は次のとおりです。(ABC順) ◆ファースト・ハワイアン・バンク様 ◆(株)ロングステイサービスハワイ様 ◆ナシモト&アソシエイツ様 ◆(株)日本航空インターナショナル様 ◆パシフィック・リム・バンク様 ◆R サカイカンパニー様 ◆リゾートハワイ不動産様 ◆ スターツインターナショナルハワイインク様 ◆(株)ワールドブライダル様 ◆ワイキキジョイホテル様 今後とも、原稿をいただき次第、追加していきます。

ご覧になるには: <http://www.hawaiiisenorlife.org> にアクセス、「会員サービス」をクリックしてください。

第2回アロハ会(東京)

馬場 弘人さん(日本支部長)



4月10日(金)11時半受付スタートでハワイアンムード一杯の赤坂「バードランド」で開催しました「第2回アロハ会」大懇親会は関東を中心に遠くは和歌山県からもご参加いただき、総勢110人の皆様で3時過ぎまで、盛り沢山の出し物もあり、大盛況の下終了いたしました。

坂井会長のご挨拶

ハワイ本部からも坂井会長、野田専務理事、石毛理事編集長もわざわざ駆けつけて、挨拶、協会プレゼンテーションと熱弁を奮っていただきました。元宝塚スターの歌、ハワイの協会イベントでも一度出演されたヒロタッキーさんの腹話術、そして会員皆様の自己紹介、ワイワイガヤガヤの交流、ハワイアン風の数々のお食事(ちょっと野菜料理が少ないとのクレームも?)、ワイン、ビールの飲み放題、更には皆様からご提供の豪華ドアープライズの数々、等々で、大変賑わいました。

当日、来られたゲスト中から5人の方が新規にご入会され、ご夫妻会員の中から2組の方が終身夫婦会員への変更、更新いただきました。

皆様の要望をしっかりと踏まえながら、第3回アロハ会を10月末に予定しておりますので、ご参加の程よろしく願いいたします。

尚、当日、答えていただいたアンケート用紙に要望がありました様に、懇親会以外のイベントも(例えばゴルフコンペ等)実施して行きたいと思っております。

皆様、改めて「アロハ会」大懇親会へのご参集、大変大変ありがとうございました。



馬場日本支部長(右)
司会の家倉さん(左)

第2回アロハ将棋祭り

水谷日出夫さん(会員・理事 / 日本将棋連盟ハワイ支部副支部長)

第二回アロハ将棋祭りが、佐藤康光永世棋聖と島朗九段の両トップ棋士をお招きして、ワイキキヨットクラブとハワイ日本文化センターで、4月1日と3日に、盛大に開催されました。

初日は、佐藤永世棋聖と島九段を囲んで、当日お集まり戴いた約 40 名の熱心なファンの皆さんとのカジュアルな昼食からスタート。 プログラムに入る前には当日ご臨席いただいた河合雪恵領事より、國方俊男日本国総領事の第 2 回アロハ将棋祭り開催へのメッセージを代読いただきました。

参加の皆さんが一様にびっくりされた、スマートなカジュアルジャケット姿から和服への「お色直し」をされた両棋士が会場に再び戻られると、いよいよプログラムの開始。



先ず、お二人による対話形式で参加者のみなさんからの質疑応答。普段訊く事のできない修行時代のエピソードやライバルについて、興味あるお話が披露されました。続いて、佐藤永世棋聖による脳内将棋(通称目隠し将棋)のエキシビション。アマチュアファンの方を相手に、プロの先生が目隠しをして実戦対局を行うというもの。今回は、当イベント参加者で最高の五段の免状を持つ、野田省三日本将棋連盟ハワイ支部長と元ハウス食品ハワイ社長の安田充氏の最強コンビが、将棋盤の见えない佐藤永世棋聖に平手戦(駒落ちによるハンディなし)で挑みました。五段チームの強い意気込みはここでは完全に空振りしてしまい、四間飛車からの十三手目の六六銀が、勢いが余って思わず指してしまった痛恨の一着。将棋理論に知悉している佐藤永世棋聖が、この瞬間を見逃す筈がなく、飛車先の捌きで対抗。その後は、佐藤永世棋聖の一方的な指しまわしになりましたが、最強チームの困り果てた顔に同情した解説の島朗九段がここで予定時間終了による、「差し掛け終了」をコール。島九段による格別のご配慮で、最強チームは、覚悟をしていた悔し涙を回避することが出来ました。



脳内将棋の後、サイン本・扇子のオークション、そして、ラッキードローと続き、いよいよ本日のハイライト、お二人の棋士による指導対局の開始です。今日のイベントを楽しみに待っていた腕に覚えのある皆さんが、そして、全く腕に覚えのない超初心者の方も一緒に混じって、五面指しによる挑戦が始まりました。殆どの方は、プロの先生に大駒を落としてもらうハンディ戦でしたが、高段の方の中には、平手で果敢に挑戦する猛者もいらっしゃいました。初心者の方には、各駒の動かし方のおさらいの後、上手(プロ棋士側)が王将と歩九枚だけの手合いにして、丁寧にご指導くださいました。指導対局の後、対局を受けられた方全員への段・級位認定を、お二人の先生にその場で行って戴きました。指導対局が全て終了の後には、表彰式、サイン会、参加者全員での記念撮影とイベントが続き、大盛況の内に第1日目が終了しました。



第2日目は、場所を日本文化センターに移し、親子将棋教室を開催。初心者の方の、大盤指導を島先生が、もうルールの方は卒業したお子さん達の指導対局を、佐藤先生が担当されました。レインボー学園の福原校長先生がご参観で張り切中、参加された約30名の親子の皆さんは、時間が経つのも忘れて、佐藤・島両先生の熱心なご指導のもと、楽しく将棋のお勉強ができたようです。終了後、ここでも参加の一人ひとりに級位を認定。記念品授与、サイン会、そして、撮影会と続き、楽しかった2時間半のセッションは、あっという間に終了してしまいました。

「将棋のトップクラスの棋士から直接、対局指導を受けられる」このような素晴らしいイベントは、日本にいてもそうあることではありません。通常の対局、そして、日本将棋連盟の執務等でお忙しい合間を縫って、ハワイにお越し戴いた、佐藤康光永世棋聖、島朗九段の両先生に、改めて心より御礼申し上げます。

又、アロハ将棋祭りに協賛くださいました、栄光ゼミナール、HIS、伊場千、瀬戸製型、中野生活研究所の各機関、イベント宣伝に多大なるご協力戴いた、KZOO ラジオ(特に、当日の司会までお願いしたカリンさんには大変お世話になりました)、ハワイシニアライフ協会、日刊サン、ハワイ報知、レインボー学園の関係者の皆さん、そして当日、受付係を買って出て戴いた、小林尚子さん、ヒル真知子さん、そして、麻生ひろみさんに、この紙面を借りて、心より感謝の意を表したいと思います。

日野原重明先生講演会「生き方上手」に参加して

野田省三さん(会員・理事)

いや～驚きました！ 97歳とはとても思えないものすごく元気な日野原先生のお姿に接して会場につめかけた参加者全員が元気パワーを一杯もらいました。4月22日、700名の参加者で一杯となった会場(アラモアナホテル)では、まず日本から参加した「新老人の会」のフラスターメンバー(平均年齢79歳とか)15名によるフラの披露で幕開けとなりました。続いてステージに立った聖路加国際病院理事長の日野原重明先生は、ピンクのタートルネックシャツに黒縞のジャケットというおしゃれな装いで、胸にワイヤレスマイクをつけ、演壇なしで、ステージを右に左に動き回りながら、約1時間30分話し続けて、聴衆を圧倒されました。

年をとってもイキイキ生きることは、まず、「愛する事」、つぎに「何かを創める事」、そして「耐えること」の3つを实践する事で、「幾つになっても新しい事を創めることに決しておそいと言う事はありませんよ」という先生の言葉には、そのように生きてこられた先生ならではの説得力がありました。来年もハワイの学会に参加されるので、また講演をしてくださるとの約束までしていただきました。感動一杯のお話を来年も聴くことが出来そうで楽しみです。

今回スタートしました New Elderly Hawaii Chapter「新老人の会ハワイ支部」とハワイシニアライフ協会は、これからいろいろな活動で協力していくことになります。

ハワイアナ

リリウ オカラニ

ハワイ王朝最後の女王リリウ オカラニは、兄カラーカウア王、妹のリケリケと共に優れた音楽家でもありました。ハワイ語と英語に精通していた女王は、兄の依頼でハワイ神話の創世記とも云える「クムリポ」の英訳も行なっています。しかし、ハワイ王国は1893年にリリウ オカラニが米国への併合派に屈し王権を放棄する事により、その一世紀弱の歴史の幕を閉じました。ハワイアンの権利を取り戻そうと女王により創られた憲法改正案は上程される事無く終わってしまいます。王国最後の女王像は、かつての自宅、現在の州知事公邸ワシントンプレイス近く、イオラニ宮殿の裏に、宮殿を背にして州会議場と緑の山々を見つめ、ハワイの将来を見守る様に建てられています。像の左手には1893年憲法草案とクムリポ、そして女王の作詞作曲によるアロハオエの楽譜が握られています。イオラニ宮殿を見学する際には裏門まで足を延ばして、女王の像にハワイ王国終焉の歴史を思い起こして下さい。



名医による無料健康相談(Eメールによる)

大山廉平ドクター(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)



日本で著名なドクター、大山廉平さん(会員、当協会特別顧問)より、会員の皆さんの健康相談を無料でお受けします、とのお申し出をいただいています。どんなことでもお気軽にご相談くださいとのこと。ご希望の方は、①姓名、②会員番号、③返信用 E メールアドレス、④病歴、⑤相談内容の下記メールアドレス宛お送りください。セカンドオピニオンの欲しい方、ご家族の健康のこと、なんでもご相談ください。

oyama@saichu.jp

※当協会のご相談内容について一切関知しません。(為念)



◆当協会発足以来、毎号 PR 記事を掲載していただいたイースト・ウェスト・ジャーナルが 34 年の歴史を閉じました。オーナーの永井雄治さん(会員/理事)、本当にありがとうございました。永井さんは、これから締め切り時間のない自由気ままな時を楽しむ、とのこと。ちなみに、近々日本縦断の一人旅(?)に出かけるとお聞きしました。

◆建築家の鈴木正巳さん(会員/理事)が、このたびハワイでの仕事を終え、日本に戻られます。鈴木さんには、色々な講演会の企画、折衝、準備や、クリスマスパーティ、その他の幹事などをしていただきました。ありがとうございました。日本での新しい仕事場で活躍されますことを期待しています。

お二人に感謝をするささやかな夕食会を 4 月 29 日に行いました。お二方のご健勝をお祈り申し上げます。

Mahalo

(編集担当:インフォメーションコミッティ/石毛克祐)

インフォメーションセンター

場 所: ワイキキビジネスプラザ 11F (2270 Kalakua Ave)

電 話: (808)428-5808

電話対応: 毎日 午前 9 時～午後 5 時(日本時間:午後 2 時～午後 10 時)

事故、病気等緊急の際は、24 時間相談受付。5時以降は緊急のご相談のみの受付

シニアライフ・カフェ

場 所: ワイキキ免税店の隣、カプチーノカフェ内 会員ディスカウントあり。

毎 日: 09:30～24:00(年中無休) 電 話: 921-3536(担当:鎌田さん)

内 容: 国際電話(10 分 1 ドル)、インターネット(30 分 3 ドル) 日経、朝日、スポーツ新聞、週刊誌等用意。ソフトドリンク、食事(日本の家庭料理/11:00～23:00)、お酒等もあります。

シニア・サテライトサロン

場 所: ワイキキショッピングプラザ 1F 「MaHaLo」ショールーム内

営業時間: 午前 9 時 30 分～午後 9 時 30 分 電 話: 926-5696

内 容: 100%コナコーヒー、静岡産緑茶・玉露、その他 18 種類のお茶(紅茶、ジャスミン、ウーロン他)を 60 種類のアンティークカップで楽しみ、会員証を提示してプレゼントがもらえます。

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiseniorlife.org 又は、カタログをご請求ください。

会員便り / 伝言板

会員同士が連絡を取り合う「伝言板」を作って欲しいというご意見をいただきました。早速、このページを「伝言板」としてもご利用いただくことにしましたのでご案内します。

当協会は、個人情報保護の観点から、ご本人様の了解なく、電話番号、住所、Eメールアドレス等を他の方に開示することはしていませんので、ご理解とご協力をお願いします。

◆ご連絡ください。

恒川宮子さん(会員)

4月25日、気功で初めてお会いし、ロイヤルクヒオまで送ってくださった喜多さん、農園をやっておられるとお伺いしました。新鮮な手作り無農薬のお野菜を分けていただきたいし、一度、連れて行っていただきたいので、ご連絡ください。5月16日までハワイにいます。次回は、7月25日～8月25日まで、1ヶ月ハワイへまいります。

連絡電話：808-778-6830

◆アロハー！

岡田早苗さん(会員)

先日、会員証が届きました。ありがとうございました。

いつも kaiho を見るのを楽しみにしております。

いつか、ハワイと日本を半分ずつ住めるようにしたいと思っています。

今後とも、よろしくお願い致します。

◆第2回 ハワイ・ロングステイ体験記(2009/1/13～2/17)

庄野泰輔さん(会員)

1、総予算(前回 2007/11/27～08/2/21 との比較)

	交通費	住居費	通信費	食材費	外食費	娯楽費	土産代	合計
前回	111,425	189,001	10,995	30,194	25,415	54,699	138,533	560,262
今回	122,406	191,328	10,726	23,824	50,636	75,210	69,494	543,624
	円/人	円/月	円/月	円/人/月	→	円/人/月	総額	

注1) 前は 85 泊 87 日を 3 か月として 1 か月分に割り算、今回は 35 泊 37 日を 1 か月分として計算

注2) 飛行機代…前は 100,040 円、今回 117,530 円(燃料サーチャージは、減額になったため。1 月出発なら 44,000 円→29,000 円、4 月以降は 4,000 円になる)

注3) 娯楽費の内訳は、ゴルフ 82%、ハワイシニアライフ協会イベント(出雲大社初詣とソニーOP練習ラウンド見学、ワイキキヨットクラブのランチパーティ、中華街のファースト・フライデー巡りと飲茶コース、般若湯の会等)とホノルル熊本県人会新年会、他 18%

注4) 通信費は携帯電話やホテル・ルーム内からの電話代(一考の価値あり…日本の携帯より通話料が安いと云うことで MOBELL 社品を 7 千円程で購入、使用する場合は 1 年間分の再契約料等、更に 7 千円程必要→ハワイ内なら受発信とも 60 円/分、ハワイから日本 80 円/分と通話料は安いかもしれないが、プリペード式や現地でのレンタルも検討の余地あり。又、ホテル・ルーム内から島内は、ほとんどが無料のところが多いと聞いた→ホケススイーツワイキでは 75 ¢ /回)

注5) 食事については、一人分と云うこともあり、自炊すべく日本から材料(調味料、海苔、味噌汁、スープ、ふりかけ、お茶漬けの素、漬物 等)を持参。又、現地でも米、缶詰、冷凍食品、野菜、果物、卵、牛乳と買い込んだが半分以上残す羽目になった…知り合いや現地友人からの差し入れ、食事の招待、パーティへの招待、ゴルフメンバーと外食に行く etc→久しぶりの単身生活をエンジョイするつもりで、料理本を 2 冊も持ちこんだが、気持ちが空回りした感じは否めない。

注6) 住居費は、前はドル建て、今回は円払い(円高のため、業者は支払総額が変わらないように工夫していると思えない)でと、流石に仲介業者は抜け目ない。現地の新聞、情報誌で見ると\$1,000～1,300 レベルで。も相当数の物件が紹介されており、事前調査の更なる必要性を感じた。
